

CONTENTS

◎決算	P.2
◎まちづくり基本構想	P.4
◎7月臨時会	P.5
◎一般質問	P.10

No.59
2019.11.1

7月臨時会と
9月定例会の
内容をわかりやすく
お伝えします。

住み続けたいまちで安心して子育てを



住み続けたいまちで 安心して子育てを

平成30年度決算を認定

一般会計(歳出)258億円(前年度比約19%増)

決算総額(歳出)411億円(特別会計・企業会計を含む)

豊かな自然環境に恵まれている本市は、子育て世代を中心に転入者が増加し、出生数も伸びている。小
学校の増設や保育園の新設などにより、平成30年度の決算においては施設整備費が増大。今後も安心して
子育てをするために持続的な整備が必要となる。



監査委員の意見

市ではこの数年の人口増加により、市税収入などの自主財源が継続的に増加してきた。しかし一方では、この人口増加は扶助費(医療・福祉などの社会保障費)をはじめとした経常経費(市政運営のために必要とされる経費)の増大や、教育施設整備など投資的経費(道路・公共施設等の整備に関わる経費の需要増大を招いており、市の財政を圧迫しつつある。

自主財源にも限りがあるため、持続可能な市政運営のためには、効率的かつ効果的な予算執行が求められる。費用対効果を十分に考慮し、中長期的な視点を持った自治体経営をお願いしたい。(監査委員意見書抜粋)

※決算内容の詳細は「広報ぶくつ11月号」に掲載されています。あわせてご覧ください。



子育て等の主な事業

◆福間小学校整備改修事業

10億7917万円
老朽化した教室棟校舎の増築、建替え、児童数増加に伴う職員室の拡張整備

◆福間南小学校整備改修事業

1億2133万円
職員室の拡張整備、水道施設の調査設計、二階建てリース校舎の賃借料

◆私立保育所・管外保育所保育委託事業

12億6955万円
認可保育所8園(分園含む)・地域型保育施設7園への保育の実施を委託

◆認定こども園運営事業

2億4111万円
市内の認定こども園(幼稚園型2園)への運営委託料

◆認可保育所定数確保事業

1億8542万円
保育所の量的、質的ニーズの増大、待機児童解消に対応するための保育所整備費用

まちづくり基本構想案可決

人も自然も未来につながるまち、福津。



住民による意見交換の様子

まちづくり基本構想案可決

市は将来の指針となる計画策定に向けて平成29年度から住民との意見交換を重ねた。平成30年度には審議会の審議を経てまちづくり基本構想案が市に答申された。

平成30年12月定例会に提出されたが否決された。再度、令和元年9月定例会においてSDGsや人口推計を加えたまちづくり基本構想案が提出され、慎重審議を行った結果、本会にて全員賛成で可決された。

まちづくり基本構想の7つの目標像

- ① 共 育
誰もが「未来の創り手」として育つまち
- ② 地域自治
人がつながり活躍する共助と共働のまち
- ③ 健 康
健康で生き生き暮らせるまち
- ④ 安全安心
安全・安心・快適に住み続けられるまち
- ⑤ 環境保全
自然・歴史・景観などの資源が守られ生かされるまち
- ⑥ 地域産業
地域の産業が経済を支えるまち
- ⑦ 観光振興
福津の魅力を生かした持続可能な観光のまち



住民参加による未来会議



審議会委員による意見交換

令和元年度一般会計補正予算 3億4474万円を追加し
総額 227億8207万円

エンゼルスポット管理運営費
 管理人報酬、施設維持管理委託料、JR福岡駅駅舎施設賃借料など 486万円

小学校校舎施設整備事業費
 小学校工事監理委託料、小学校大規模改造工事費 1億5363万円



赤ペン先生に採点をしてもらう子どもたち



6月に開園した日時野あおぞら保育園

認可保育所運営事業費
 保育所施設整備補助金 8085万円

農業用施設整備事業費
 農業用ため池ハザードマップ作成委託料 937万円

自治体ポイント事業費
 自治体ポイント事務委託料など 290万円

財産の取得について

1億221万円

賛成多数で可決

津屋崎古墳群史跡等買い上げ事業用地として取得した。本件は福津市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定によるものである。

本案に対する付帯決議※

今後、「古墳群整備や保存管理」にあたっては「新原・奴山古墳群の整備計画」の主旨にのっとり地域住民をはじめ市民への情報共有及び共働をこれまで以上に、丁寧に対応して進めること。

※付帯決議とは、議案に関して議員の意見や要望を加えた決議。

7月臨時会

令和元年7月31日開催



世界遺産 新原・奴山古墳群

一般会計補正予算について

総務費 特別職給 △12万円
 事務局費 教育長給 △3万円

全員賛成で可決

市の再任用職員が飲酒運転で逮捕されたことを受け、市長、副市長、教育長の報酬減額を行ったことによる補正予算。

幼児教育・保育の無償化に伴う条例を改正

全員賛成で可決

10月から始まる幼児教育・保育の無償化の制度によって、幼稚園・保育所(園)・認定こども園などを利用する3歳以上児と、住民税非課税世帯の0〜2歳児は保育料が無償化となる。

今回の制度改正では3歳以上児について、従来から保育料とは別に負担していた主食費(米・パン等)に加え、今まで保育料の一部として負担していた副食費(おかず・おやつ等)についても保育料とは別の徴収方法となる。

主食費及び副食費の費用徴収について本市の条例を改正した。



栄養豊富な給食



園児たちの給食の様子

福津市印鑑条例を改正

全員賛成で可決

今回の政令及び条例改正により、婚姻等で姓(氏)が、住民票やマイナンバーカード、住民票の記載事項を基に作成される印鑑登録証明書等に併記されることになる。

これにより、各種の契約締結や就職等で、旧姓をそのまま使用しようとする場合、本人確認ができるようになり、個人の社会活動が活発になることが見込まれる。

福津市税条例等の一部を改正

全員賛成で可決

地方税法等の改正に伴い4つの改正を行った。

子どもの貧困対策として単身児童扶養者(未婚の母など)のうち低所得者に該当する者を令和3年度から住民税非課税の対象者に組み入れる法改正がなされている。これにかかる住民税申告関係書面の様式を変更する条例改正を行った。

加熱式たばこの課税標準を決める際の本数換算の乗率の改正を行った。

軽自動車税のグリーン化特例による燃費基準等に応じた経過措置について令和3年度まで延長させる改正を行った。

10月1日から自動車取得税に代わって導入される軽自動車税環境性能割を消費税率引き上げなどに伴う負担緩和のため特定期間減免する改正を行った。

(市民福祉委員会審査報告)

9月30日旧津屋崎郷づくり拠点廃止、10月1日神興郷づくり、12月1日勝浦郷づくり拠点供用開始

全員賛成で可決

津屋崎郷づくりは現在「まちおこしセンターなごみ」を郷づくり拠点としている。このため今ままで使用していた拠点を9月30日で廃止。また神興郷づくりは新拠点が10月に完成した。勝浦郷づくりについては12月に新拠点が完成する予定である。

主な質疑

問 旧郷づくり拠点の今後は。

答 旧津屋崎郷づくり拠点は平成11年建築でインターネット環境や駐車場があるので今後も使用する検討をしている。旧神興郷づくり拠点は学童保育所に返還する。

(建設環境委員会審査報告)



福津市森林環境整備基金 条例の制定

全員賛成で可決

森林環境の整備及びその促進に要する経費に充てるため、森林環境譲与税を財源とした新たな特定目的基金を設置するための条例を制定する。

主な質疑

問 収入として市に入ってくる森林環境譲与税の額はいくらか。

答 今年度は約298万円、その後順次増え、最終的に令和15年度以降約1006万円の見込みである。

問 森林環境譲与税の用途はどうか。

答 森林経営管理法に基づく森林の経営管理費の他、木材の利用促進や環境保全を想定している。

問 他自治体との広域連携や鳥獣被害対策はどうか。

答 自治体内で使うのが基本であるが、広域連携は今後検討する。また、鳥獣被害対策は森林保全に係わることであれば、森林環境譲与税の対象となる。



福津市職員定数条例等を改正

全員賛成で可決

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律が公布された。それにより、会計年度任用職員制度が創設され、特別職非常勤職員及び臨時的任用職員の任用要件が厳格化された。市任用の臨時職員、非常勤職員及び嘱託職員を会計年度任用職員へ移行するため、各関係条例を改正及び廃止する。

主な質疑

問 制度導入にどのくらい財源が必要か。

答 国県の補助はなく、一般財源で約4500万円増加する見通し。

福津市立幼稚園条例を改正

全員賛成で可決

子ども・子育て支援法の一部を改正する法律が、令和元年10月1日から施行され、幼児教育・保育の無償化が実施されることに伴い、関連する福津市立幼稚園条例について所要の改正を行う。

主な質疑

問 国が「改正子ども・子育て支援法」の施行に関わる省令に誤りが見つかったが本条例への影響はないか。

答 本条例への影響はない。

福津市公民館条例を改正

全員賛成で可決

施設の老朽化による勝浦公民館廃止決定に伴い、本条例について所要の改正を行う。

(総務文教委員会審査報告)

人事案件に同意

《人権擁護委員》

花田 正孝 氏
はなだ まさたか

任期 令和2年1月1日から
令和4年12月31日まで

陳情・意見書

福津市保育所の建設予定地に関する陳情 矢野 真一

天皇陛下御即位奉祝賀詞決議に関する陳情書

天皇陛下御即位福岡県奉祝委員会
実行委員長 山本 泰藏

右折車線及び右折優先信号増設に関する陳情書 山口 尚志

高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

提出者 蒲生 守
賛成者 中村 晶代
高山 賢二



人事評価制度の基本的仕組みと人材育成について、及び災害時の対策本部の組織や権限と地域防災組織の現状と課題について調査

人事評価制度は、人事評価制度マニュアルに基づき、実施しているが、市民対応の最前線である窓口業務でのOJTは今後の課題である。また自主防災組織の組織率84%である。自治会単位による自主防災組織も設立されていないため、自主防災意識も十分でない。

(総務文教委員会所管事務調査)

人事評価制度について

人事評価制度は、平成28年度に導入し、工夫改善を行ってきているが、納得性・公平性・客観性が求められる。今後は、評価者、被評価者の評価の共通認識化、日常的に対話、評価する仕組み、研修を増やすことも必要。更に目標設定時に、能力開発の技術指導力、客観的なデータベースづくりや、他自治体の事例を参考にしての検討も望まれる。人材育成は、民間企業への派遣研修、研修効果の判定、特に窓口業務の能力育成が重点となる。

防災について

災害時の対策本部は、市長を本部長として設置され、職員の

配備や活動内容も定められている。対策本部の機能が失われた際の設備等の具体的な整備計画や、議会の動き方も自主的な議論が必要。地域防災組織は、自治会活動継続の困難さもあり、災害時にうまく機能するのか。また、防災推進員や防災サポートの役割の明確化と、地域消防団員の人員確保、備蓄防災倉庫などの市民への周知なども課題である。



水防訓練の様子

宮の元公園と津屋崎地域の公園の現状、及び観光振興の補助金・委託料の実態について調査

津屋崎地域において防災拠点と、憩いの場としての公園が不足していることから市の取組について現地調査を含め確認した。また観光振興の予算が今年度減額されていることから、事業内容について調査を行った。

(建設環境委員会所管事務調査)

公園管理について

津屋崎地域の宮の元公園の現地調査を行った。公園内にある施設は陶芸を中心に各団体の使用が多く行われていた。ただ、駐車場の案内が分かりにくい点や駐車スペースが限られていることから、利用者の利便性と防災時の一時避難場所として使用することから早急に駐車場改修を行うよう求めた。

観光振興について

観光振興について既存イベントの補助金は、ほぼ減額になっているが減額理由が不透明な部分があり改善を求めた。またイベント開催にあたり問題点として会場までのアクセス方法と会場周辺の渋滞を指摘。

委員会としてはイベント開催

中の貸切バス運行や市が保有するマイクロバスの使用緩和の検討を求めた。



利用しにくい宮の元公園駐車場

こども総合支援の取組みについて兵庫県明石市を、在宅介護総合特区の取組みについて岡山県岡山市を視察

明石市は、子どもを核としたまちづくりやセーフティネットを確立し、こども総合支援条例の制定など子育てに特化した施策を展開。駅前ビルにはこども広場や図書館などを集約し利便性に富んでいた。

岡山市は国から「在宅介護総合特区」に指定され、規制の緩和、財政、金融、税制での支援を受けて、介護の理念をきめ細かく追求していた。

(市民福祉委員会所管事務調査)

明石市は、まちづくりの基本理念に「全てのこどもたちを」「まちのみんなを」「こども目線で」「本気で応援と掲げている。その結果、子育て世代の転入による人口の増加、税収の増加へと繋げている。

具体的には、今年4月児童相談所を開設。全国初の離婚前後のこども支援、児童扶養手当の毎月支給、無国籍者の支援、里親100%プロジェクト等々セーフティネットを確立している。

郊外にあった図書館を駅前ビルに新設、施設の中に妊娠期から幅広い年齢の子育てをサポートするこども広場、子育て支援センターを設置、子育て環境の充実化を図っている。



あかしこども広場のパンフレット

岡山市は、デイサービスの質の評価制度を導入している。このことよって、利用者の生活の質の向上、家族負担の軽減、事業所の改善意欲の向上につながり、更に介護給付費の削減に効果を上げている。

両市の取組みを本市でも参考にすべきと考える。

議会広報紙の刷新に向けて、高校生が表紙写真を提供している岡山県津山市、イラスト表紙の兵庫県三田市を視察

津山市「みんなちやい」は、委員の発案した津山弁で「〇〇してみよう」という意味。多くの人に手に取ってもらいたいという願いから命名。三田市「つなぐ」はイラストを表紙に、今年は、三田八景をテーマとしている。30〜40代をターゲットに紙面を構成。

(議会広報調査特別委員会所管事務調査)

▼岡山県津山市を訪問

市内の4高校の写真部が表紙写真を提供。紙面中も現場の写真で臨場感アップを狙った写真を掲載している。知ってほしい事業は、枠を大きくとり説明に写真・イラストを加え、読者の興味が沸くように紙面構成を行っている。



津山市議会だより令和元年6月号



三田市議会だより令和元年5月号

▼兵庫県三田市を訪問

イラストは公募により決定。2月ごろテーマを決めて依頼している。横書きに慣れ親しんでいる若い世代に読んでもらいやすい紙面作りを工夫した。紙面中は、色やデザイン等を多く使い構成されていた。



ここが聞きたい

一般質問



1. 中村 清隆 …… P11

- ①学童保育所の現状と課題について
- ②市内の公園計画・管理について

2. 下山 昭博 …… P11

- ①本市の支援を必要とする幼児の現状及び児童生徒の特別支援教育の今後について
- ②買い物困難者の現状とその対応について

3. 森上 晋平 …… P12

- ①本市におけるRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の活用について
- ②本市における自治体業務の効率化について

4. 榎本 博 …… P12

- ①「福津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実現で期待される効果と地域の活性化について
- ②郷づくり基本構想について

5. 戸田 進一 …… P13

- ①産業廃棄物処理場に対する住民の不安解消について
- ②買い物支援活動の更なる拡充・推進について
- ③地域での住民のつながりについて

6. 秦 浩 …… P13

- ①ため池周辺の防災について
- ②避難所の設置場所やゲリラ豪雨等の災害対策について

7. 八尋 浩二 …… P14

- ①残土条例等の制定に向けて
- ②農業活性化とふるさと納税について

8. 横山 良雄 …… P14

- ①津屋崎ヨットハーバー利用の改善と海洋観光の施策について
- ②高齢社会に対応する計画について

9. 米山 信 …… P15

- ①子育て世代包括支援センターについて
- ②公害防止協定等の締結について

10. 蒲生 守 …… P15

- ①災害時のごみについて
- ②県が市に移管する道路について
- ③建築物の耐震改修の促進に関する法律における避難路沿道建築物について

11. 田中 純子 …… P16

- ①持続可能な下水道事業について

12. 石田 まなみ …… P16

- ①若木台周辺の道路の改善について
- ②公共施設の公衆無線LANサービスについて

13. 福井 崇郎 …… P17

- ①第2次福津市都市計画マスタープランについて
- ②市における環境保全の取り組みについて
- ③学校教育におけるICT学習環境の整備及び活用について

14. 尾島 武弘 …… P17

- ①SDGsについて
- ②市民農園について

15. 中村 晶代 …… P18

- ①障がい者福祉に関する助成制度について
- ②訪問介護を行う事業所の駐車許可申請について
- ③買い物弱者への取り組みについて

16. 桜村 公彦 …… P18

- ①オウム真理教教団から分派したひかりの輪福岡福津施設に対する観察処分について
- ②高齢者の安全運転について

一般質問の詳細は、福津市議会ホームページをご覧ください。
 質問者ごとに一般質問を録画配信しています。公開は、各定例会後の4年間です。
 (検索方法は19ページに掲載)



福津市古墳キャラクター
ふんちゃん

3つの未整備都市 計画公園の今後は

質問
答弁 都市計画変更も視野に入れた課題のひとつだ

問 公園は、足りているのか。

答 津屋崎地区では、若干不足している」と認識している。

問 宅地開発に伴う公園整備で、管理等困っている公園はあるのか。

答 不整形地になることもあり、狭く利用も少なく、管理費が必要となることもある。

問 狭い公園は何箇所あるのか。

答 市全体で、34箇所程度あり、最近の開発では、92㎡など小さい公園が3か所ある。



中村 清隆



昭和55年開所。老朽化している神興小の学童保育所

問 開発行為の基準の見直しは。

答 国の通達も来ており、市で条例を制定すれば、設置基準の面積を緩和することができる。

▼学童保育所の現状と課題について

問 入所率が220%を超えている所もあるが、問題はないのか。

答 利用率は6割程度で、児童が多い時は、保育園のホールを保育室として、受け入れていると認識。

問 神興小学校学童保育所は、築約39年経過しているが、建替えは。

答 大規模改修で、維持を図る方向。

幼児児童生徒の 支援教育について

答弁 支援教育における人材の確保と育成に努める

問 幼児教育における対応及び支援体制について問う。

答 大和保育所では、複数体制で保育を実施している。神興幼稚園では、集団生活を送る中で補助の先生で支援サポートを行っている。更へのびのび発達支援センターと連携している。

問 児童生徒の支援教育における個人カルの作成、引継ぎや活用等について問う。

答 個別の保育計画や教育支援計画を作成し、小学校への引継ぎ等に活用している。



特別支援にも力を注ぐ大和保育所

問 特別支援教育に対応する人材確保とその研修について問う。

答 市費で小学校23名、中学校5名の支援員を配置している。研修は、市指導主事により行っている。更に保育所及び幼稚園の教育水準を維持するため、必要な職員、保育士を確保する。

▼買い物困難者への対応について

問 住みたい街への想いが持続する本市の今後の方策について問う。

答 支え合い協議体や事業者等と連携して、地域課題解決に取り組む見守り体制の整備、安心して生活できる環境整備に努める。



下山 昭博



森上 晋平

質問 市役所の業務効率化について

答弁 RPA導入を前提に業務改善に取り組む

問 RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）やAI等の先端技術を活用して、市役所の業務効率化を行う意思はあるか。

答 宗像市や糸島市を参考にし、ノウハウの共有を図る。またふくおか電子自治体共同運営協議会の実証実験の経過を見つつ、導入するかしないかの判断をする。

問 RPAを導入するかどうかの判断基準は何か。

答 RPAを導入するかどうかの判断基準は「費用対効果」「作業効率」「行政サービスの確実性の担保」

問 RPAを導入するかどうかの判断基準は「費用対効果」「作業効率」「行政サービスの確実性の担保」



テクノロジー × 地方創生

である。

問 先端技術を活用した業務改善を行うためには市役所の業務フローやマニュアルを整備する必要があると考える。市の考えは。

答 今後は財政調整課を中心にRPAを導入することを前提で業務改善や事務事業の検証を行わねばならないと考える。業務フロー及びマニュアルについてもRPAの導入を前提に検証推進する事が重要だと考える。業務の見直しが市民サービスの向上につながることを庁内で共有して改革を進める。本市が他市に立ち遅れないように広域連携や技術の活用を通じて、市役所の業務改善に努める。



榎本 博

質問 観光客受け入れのための施設整備は

答弁 進めていきたいと思っ

問 外国人客が増えている中で洋式トイレの要望が出ていると思われ

るが、本市は全くこれに対応していないという話を聞く。宗像市では世界遺産登録直後から整備をおこない、観光施設関係のトイレの洋式化は90%が完了していると聞く。本市での整備はどうされるのか。また、観光と福祉ということで、第二次観光基本計画に盛り込むとの事だが、観光に伴なって洋式トイレにしたり、バリアフリーにしたり、設備を充実させることで障害者や高齢者に対応していけるという観点からの回答を期待している。この問題は待たなしの可能性がある。市の考えは。

答 洋式の便器がないことは把握している。観光地の公衆トイレについては老朽化や使用頻度など、いろいろ問題がある。市としては洋式トイレは必要だと捉えている。見直しについては優先順位を決めて、進めていきたい。

問 観光施策を進める上で、最も必要なものは何か、市長の考えは。

答 市民とより良い交流ができ、幸福・満足度が増える福津ならではの観光施策を進める事だと思っている。



宮地浜にある、市の公衆トイレ

質問

買い物支援活動の 拡充・推進を

答弁

安定的に継続できる
体制整備等は進めたい

問

現在行っている「移動販売」等の安定的な継続のために、市としてすべき支援策を二点提案する。一点目は、今の活動を広く知らせ、必要な地域に広げ地域のボランティアの組織や販売場所（公民館の使用等）の整備をはかること。二点目は、冷蔵車の貸与など事業者支援を強め、商品の品揃えなどの強化をはかること。商品の品揃えの強化は、利用者の利便性の向上となり利用者増につながる。そして、結果的に移動販売事業の安定的な継続の保障になると思うが、市の見解は。

答

地域での整備は、地域と話し



戸田 進一



移動販売の準備中（原町公民館）

質問

市内のため池周辺の 防災について

答弁

ため池90カ所のハザードマップを作成する

問

ため池周辺のハザードマップを作成するか伺う。

答

市内にため池は112カ所ある。防災重点ため池に選定された90カ所のハザードマップを作成する。

問

ため池の耐震調査を行ったか伺う。

答

市内にあるため池8カ所の耐震調査を実施した。その結果4カ所について基準値を満たさない事が判明した。今後の方針としては県営ため池事業として県農林事務所と協議を進めていきたいと考えている。

答

防災マップにも記載してあるが、このハザードマップが市民に理解されているかいささか疑問を感じる。ハザードマップの有効性や信頼性を含めて市民への周知に力を注いでいきたい。

問

消防団の機材等は充実しているかを伺う。

答

消防ホースは予算の範囲内で確保していききたい。



秦 浩

▼避難所の設置場所やゲリラ豪雨等の災害対策について

問

指定避難所等が高潮の被災想定区域の中にあることについて伺う。



宮司の新堤池



八尋 浩二

質問 残土条例等の条例 制定を早急に

答弁
現段階ではいろんな
条件を勘案しても難しい

問
残土条例等を制定している市町村は全国にたくさんある。条例を研究して、廃棄物関連や資材置き場等が出来る際、土砂が搬入搬出される際、保管する際、条例で規制できる。市民の不安を取り除くべきと考える。市の考えを伺う。

答
現在、市には環境創造条例と福岡県土砂埋め立て等による災害の発生防止に関する条例で規制をしている。提案されている条例等が市にとって必要か、内容を精査研究したい。

▼農業活性化とふるさと納税について

問
市の特産品であるクリームスイカはふるさと納税で人気の返礼品だが、生産者減少のため数量限定となっている。市の特産品の生産を維持するためにはJAと連携を図るなどして、新規就農者等に生産を促すことや返礼品への出品協力を求める対策が必要と考える。市の考えを伺う。

答
JA等の関係団体と協議する場を設け生産者の声を聞き、生産量の維持をして頂きたいと強く希望しお願いする。また継続していくための対策についても協議し、クリームスイカを守っていくよう努めていきたいと思う。



福津市特産のクリームスイカ



横山 良雄

質問 津屋崎ヨットハーバー の利用改善は

答弁
利用者アンケート調査で
サービス改善を検討

問
ヨットハーバーの改善点は。

答
浮桟橋や牽引車などの老朽化対策、上げ下ろしクレーンの運用見直し、電源コンセントの設置、水道利用、3号浮桟橋におけるヨットとボートの混在解消、安全確保、防犯夜間照明、夜間のトイレやシャワーの利用、入退門のカードキー化等の要望を検討する。

問
観光資源である海の観光拠点づくりと、周辺の観光資源を一体的に活性化させる施策はあるのか。

答
津屋崎ヨットハーバーやお魚センターうみがめ、県営津屋崎漁港

議会だより ふくつ

問
市民参画の観点から、郷づくりの部会に「観光地域ブランド部会(仮称)」の設立をお願いして、観光施策のご提案など、ご尽力いただけないか。

答
郷づくり支援課としても、関係の協議会とお話をしていければと思っている。

▼高齢社会に対応する計画について
問
次期計画は、市民や事業者と如何に向き合って計画を作るのか。

答
市民ニーズを把握して策定する。



津屋崎ヨットハーバーを海の駅へ

質問 子育て世代包括 支援センターは

答弁 現在準備中であり、令和2年度中に開設予定

問 同センター設置の目的は、妊娠初期から子育て期まで切れ目のないワンストップで包括的な相談体制を整えることにある。設置までの進捗状況は。また相談・支援体制を確保するために必要なスタッフの配置及び関係部署の共働と連携は、どのようになるのか。

答 関係部署で協議を行ない、令和2年度中に開設予定である。関係部署や関係機関の会議を利用し、支援プラン策定にかかわるなど共働連携していく予定である。

この業務に必要な専門職として、保健師・保育士・助産師・精神保健福祉士・社会福祉士・管理



子育て世代包括支援センターの設置は

質問 災害ごみの 処理対策は

答弁 庁議の場に提案し、協議していきたい

問 市は災害廃棄物処理計画を作成し、災害時のごみ処理の方針を打ち出した。この計画の実現性について伺う。

答 災害廃棄物を円滑に処理していくために、マニュアル等を整備していく必要がある。整備をしていく中で、災害発生時の廃棄物について、さまざまな団体や組織に対し協定を締結し、より実践的なものにしたと考えている。現在、被災時に近隣自治体によるごみの受け入れ協定や福岡県産業資源循環協会による廃棄物の撤去、収集、運搬、処分について協定を締結している。他市と既に協定を締結している



例) 災害ごみの集積場所

新栄環美事業協同組合と締結に向けて話を進めている。

問 災害ごみをどのエリアに集積するのか。

答 津屋崎地域で2カ所、福岡地域で4カ所設置するように計画をしている。

問 整備のために予算が必要になる。災害はいつ起こるかわからない。早急な対策を。

答 大規模風水害が起こった場合、災害ごみの処理は急務になる。これに対応する計画の検討を担当課だけでなく、庁議に提案をして、全庁的に協議していきたい。



米山 信

答 市内の産業廃棄物処理業者7業者のうち2業者と締結している。今後も同協定の締結については県条例を遵守して、許認可権者である福岡県と連携を図り、対処していきたい。

▼公害防止条例の締結について

問 産業廃棄物処理業者と地域住民との問題解決のため、市が主導して公害防止協定・環境保全協定を締結する必要があると思うが、市の見解は。



蒲生 守



田中 純子

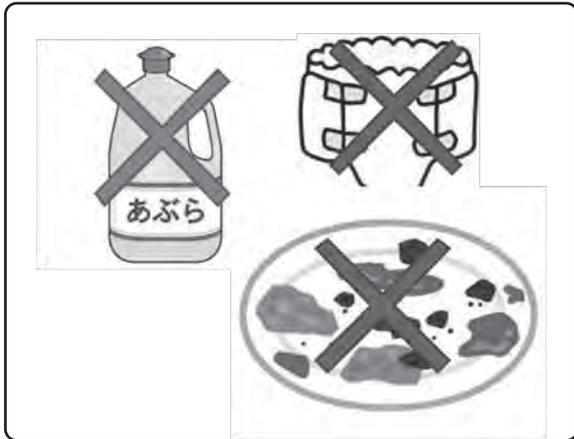
質問 下水道事業の市民 への啓発を

答弁 イベントや学校での

出前講座等を検討する

問 私たちの生活に欠かせない水。特に下水道事業は大変重要であり、人口増加を見据えた対策も必要である。持続可能な下水道事業のために何う。①下水道事業の現状と課題は。②人口増加に伴う計画、持続可能な事業にするための取り組みは。

答 ①平成30年度末の下水道普及率は約98%。水洗化率は約89%。課題としては、施設面では管路の老朽化や、雨水・汚水など管に流入する不明水の対策工事が必要。下水道の適切な使用方法などが行き渡っていない。②福岡浄化センターに5つ目の処理池を増設中。



下水道に流してはいけないもの

問 今夏、子ども達と一緒に浄水場見学を行い、大量の油や紙おむつ等が流され、処理に時間とお金がかかっていること、処理費用が1日150万円、年間約6億円かかることを知った。また、福岡南郷づくり環境景観部会では、愛媛県工業技術センターで開発されたマイエンザという微生物活性酵素を10年前から作っている。微生物の力で、家庭の排水口や下水路、河川をきれいにする働きがある。これらの情報を、市民や子ども達にも知らせていくべきでは。

答 下水道の日の時期にチラシを配布、出前講座で周知しているが、今後はイベントも検討。マイエンザについてはもう少し調査したい。



石田まなみ

質問 若木台周辺の道路 の改善について

答弁 子どもや高齢者が

歩きやすい環境は大切

問 JR東福岡駅西側の踏切から県道福岡宗像玄海線を結ぶ交差点は見通しが悪く、右折しづらい状況だが改善策はあるのか。

答 踏切の立地条件で改良計画が立てられなかったのが現状だが、踏切の手前に注意喚起を促す方法を検討していく。

問 若木台には細い歩道があり、雨天の時は傘をさして歩きにくい事もある。市としての対応策は。また神興東小学校の通路では車と接触しそうな箇所があり、登校時にパトロールをしている親の不安な思いは市に伝わっているのか。

答 神興東小学校に面した、狭くて危なかった道路が今年度整備される。今後も通路の安全確保だけでなく、高齢者にも安全安心な環境づくりを市民と一緒に取組んでいく。

▼公共施設の公衆無線LANサービスについて

問 通常時の会議の利用や災害時の情報取得の面など、導入は有意義であると考えるが市の考えは。

答 初期費用や維持費などの経費、急速に進歩するICT技術やインフラ整備の動向などを視野に入れながら、公衆無線LANのあり方を整理し、研究していく。



歩きづらい歩道の改善を

質問 住民や環境に耳を 傾けた観光計画を

答弁
観光を地域総体産業と
位置付けて取り組む

問
デンマークのコペンハーゲン市では観光戦略として「観光の終わりを」を宣言し、地域住民や企業、そこに訪れる人が一体となって観光をつくっている。津屋崎地域は観光をキーワードに活性化を計画している。本市のイメージする観光戦略とは。

答
観光基本計画の審議会中ではあるが地域総体産業と位置づけている。観光に取り組むことで、全産業が活性化し、総体産業が生まれ循環していく。津屋崎地域は自然環境、伝統文化など資源が多く残る地域であり、「学びの場」を通じて活性化を行う。この取り組み



福井 崇郎



自然と昔ながらのまち並みが共生する津屋崎地域

質問 幸せなまちづくり にESD SDGs活用を

答弁
市民や各種団体などと
共働してつく

問
国に提出されたSDGs未来都市の提案書の中に、3カ年で7872万円の大きな事業費が組まれているが必要額なのか。

答
3000万円の補助金が出るモデル事業に選定されなかったので、3カ年の事業費は予定より小さな金額になる。

問
新原・奴山古墳群の世界遺産を中心に持続可能な観光振興に取り組んでいくとしているが、どのように整備をしていくのか。

答
勝浦地域の活性化も念頭に置いた上で、対策を講じていく。



尾島 武弘



世界遺産：新原・奴山古墳群の展望台

問
誰一人として取り残さないまちづくりをどう実現するのか。

答
市民や各種団体などと共働し、幸せなまちづくりを進める。

▼市民農園について

問
あんずの里市民農園の利用者から、要望等の連絡先が分からないという声があるが市の対応は。

答
連絡先記載の文書を出している。

問
福間地区にも市が関わった市民農園を開園する予定はあるか。

答
農業振興や遊休農地解消の観点から、今後検討していく。



中村 晶代

障がい者福祉の 助成制度について

質問
答 次年度に向けて予算
編成を含め検討していく

問 身体障害者へのタクシーチケットによる初乗り運賃の助成は、福津市と宗像市では使用できるが古賀市からは現在使用できない。古賀市に通院する障害者は多い。市の今後の対策を伺う。

答 身体障害者手帳1級2級の方に申請により配布しているタクシーチケットは、現在は古賀市のタクシー会社とは連携していないため使用できないが、今後は障害者の利便性向上のためにも前向きに協議していきたい。

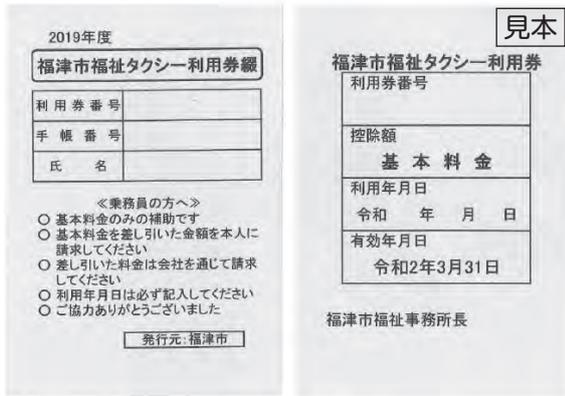
問 身体障害者が運転する自動車の改造費助成制度は、以前は10万円

だったが現在は5万円に減額されている。この制度の利用者は年間3名程度で市の財政を圧迫するほどの金額ではなく、就労する障害者にとっては必要不可欠な制度である。市の対応を伺う。

答 2年前に県からの助成は無くなったが市の助成は維持している。次年度に向けて助成額の見直しも含め検討していきたい。

問 介護事業所の訪問介護中の駐車許可の申請、及び駐車場の確保についての市の対応は。

答 駐車場の確保は、警察署との連携、公共施設や地元住民への協力を依頼していく。



福津市福祉タクシー利用券



梶村 公彦

高齢者の安全運転 支援装置補助は

質問
答 補助金のあり方も含め
調査研究を進める

問 高齢者の運転免許返納も多くあるが、どうしても車を必要としておられる方もいる。高齢者が加害者にも被害者にもならない取り組みが必要である。高齢者が安全運転できるように急発進防止装置や安全運転支援装置のドライブレコーダーの補助金事業の創設の考えはあるのか。

答 交通事故死亡者が、ゼロに近づくような施策を福津市として進めている。補助金のあり方についても調査研究を進める。

▼オウム真理教教団から分派した「ひかりの輪」の福岡福津施設に対する観察処分について

問 公安審査委員会は、1月22日、教団について6回目の観察処分の3年間更新を決定している。これに対し「ひかりの輪」は、同決定取消しを求める訴訟を提起した。この施設が存在を含め、トラブルや事件が発生すると、地域の住民だけでなく本市にとっても、マイナスイメージとなる。地域の声を聞き、関係団体に働きかけ、不安や恐怖感を解消してもらいたい。

答 オウム真理教対策関係市区町連絡会が全国で組織されている。地元の要望、状況を逐次入手し情報を共有し対応していく。

うきは市高齢者安全運転装置設置促進事業補助金の案内

賛否表

結果	議案名	議員名																	
		福井 崇郎	森上 晋平	秦 浩	石田まなみ	八尋 浩二	田中 純子	中村 晶代	尾島 武弘	下山 昭博	高山 賢二	中村 清隆	蒲生 守	横山 良雄	戸田 進一	榎本 博	椋村 公彦	米山 信	江上 隆行
7月臨時会																			
可決	議案第35号 財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
9月定例会																			
可決	認定第2号 平成30年度福津市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
可決	認定第3号 平成30年度福津市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
可決	認定第6号 平成30年度福津市公共下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○

※議長は可否同数の時以外は表決に参加しません ○は賛成 ●は反対 ーは欠席

下記議案については全員賛成で承認・可決・同意

- 7月臨時会
- 議案第34号 平成31年度(令和元年度)福津市一般会計補正予算(第2号)について
- 9月定例会
- 同意第5号 人権擁護委員候補者の推薦について
 - 議案第36号 平成31年度(令和元年度)福津市一般会計補正予算(第3号)について
 - 議案第37号 平成31年度(令和元年度)福津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について
 - 議案第38号 平成31年度(令和元年度)福津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)について
 - 議案第39号 平成31年度(令和元年度)福津市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について
 - 認定第40号 平成31年度(令和元年度)福津市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)について
 - 認定第1号 平成30年度福津市一般会計決算の認定について
 - 認定第4号 平成30年度福津市介護保険事業特別会計決算の認定について
 - 認定第5号 平成30年度福津市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について
 - 議案第41号 福津市まちづくり基本構想の策定について
 - 議案第42号 福津市森林環境整備基金条例の制定について
 - 議案第43号 福津市職員定数条例等を改正することについて
 - 議案第44号 福津市立幼稚園条例を改正することについて
 - 議案第45号 福津市公民館条例を改正することについて
 - 議案第46号 福津市税条例及び福津市税条例等の一部を改正する条例を改正することについて
 - 議案第47号 福津市印鑑条例を改正することについて
 - 議案第48号 福津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び福津市立保育所条例を改正することについて
 - 議案第49号 福津市郷づくり交流センター条例を改正することについて
 - 発議第4号 高齢者の安全運転支援と移動手手段の確保を求める意見書

今年度の定例会の予定

12月定例会 11月26日(火)開会	3月定例会(令和2年) 2月25日(火)開会
-----------------------	---------------------------

▶ 議会の動画を配信しています。

本会議の様子をインターネットで生中継・録画配信しています！
録画中継は議会閉会后、概ね10日以内に配信します。

議会にアクセスしよう!

編集後記

秋の交通安全運動で地域の見守り隊の方と一緒に通学路に立たせて頂き、子ども達の表情に心を配りながら通学を温かく見守っておられる姿にこちらも励まされました。

子育て世代の転入により子どもが増加している本市では、お元気な高齢者も比較的多く、表紙の絵にも描かれてはいる通り、世代間の共助で支えられていることを実感した朝でした。

まちづくり基本構想では「人も自然も未来につながるまち、福津。」を掲げています。人生百年時代を迎えた今、若者も高齢者も安心して住み続けられる「幸齢(こころい)社会」を目指して、全世代が更に知恵を出し合い努力して進んでいきたいと思います。

中村 晶代

議会広報調査特別委員会

委員長	副委員長	発行責任者	委員
江上 隆	蒲井 守	福井 崇郎	森上 晋平
田中 純子	中村 晶代	中山 昭博	山下 隆行



第2次福津市環境基本計画 「目指す環境の姿」
 [出典：九州工業大学環境デザイン研究室作成]

「未来を描く(未来への絵手紙)」議会だよりの表紙・裏表紙について

議会広報紙の刷新に向けて表紙や記事のリニューアルに取り組んでいる。9月定例会においてまちづくり基本構想案が可決され、市のこれから将来のビジョンが提示された。今回は、「未来につなぐ」をテーマに子どもから大人、次世代まで安心して暮らせるまちづくりへの想いを込めて広報紙を作成した。

表紙の絵を本市在住で福津市教育委員会学校教育課指導主事の大嶋正紹さんに依頼した。テーマは「自然に囲まれ、幼子と年配者の心温まる情景」(持続可能なまちづくりSDGs関連)である。

裏表紙は、本市の第2次環境基本計画にて作成した目指す環境の姿を紹介している。自然、人、産業が折り重なった持続可能な環境の将来像である。

議会を傍聴してみませんか

次回定例会のお知らせ

11月26日(火)開会
12月 9日(月)閉会予定

日程等に変更になる場合があります。
 最新情報はこちらへ。



託児サービスがあります

傍聴希望日の5日前まで(土・日・祝日除く)のお申し込みが必要です。託児料は300円です。詳しくは、議会事務局(43-8144)にお尋ねください。お気軽にお越しください。